CITIZEN

# 2026年度（2027年３月期）
# 第２四半期決算説明会

シチズン時計株式会社
2026年11月12日

目次

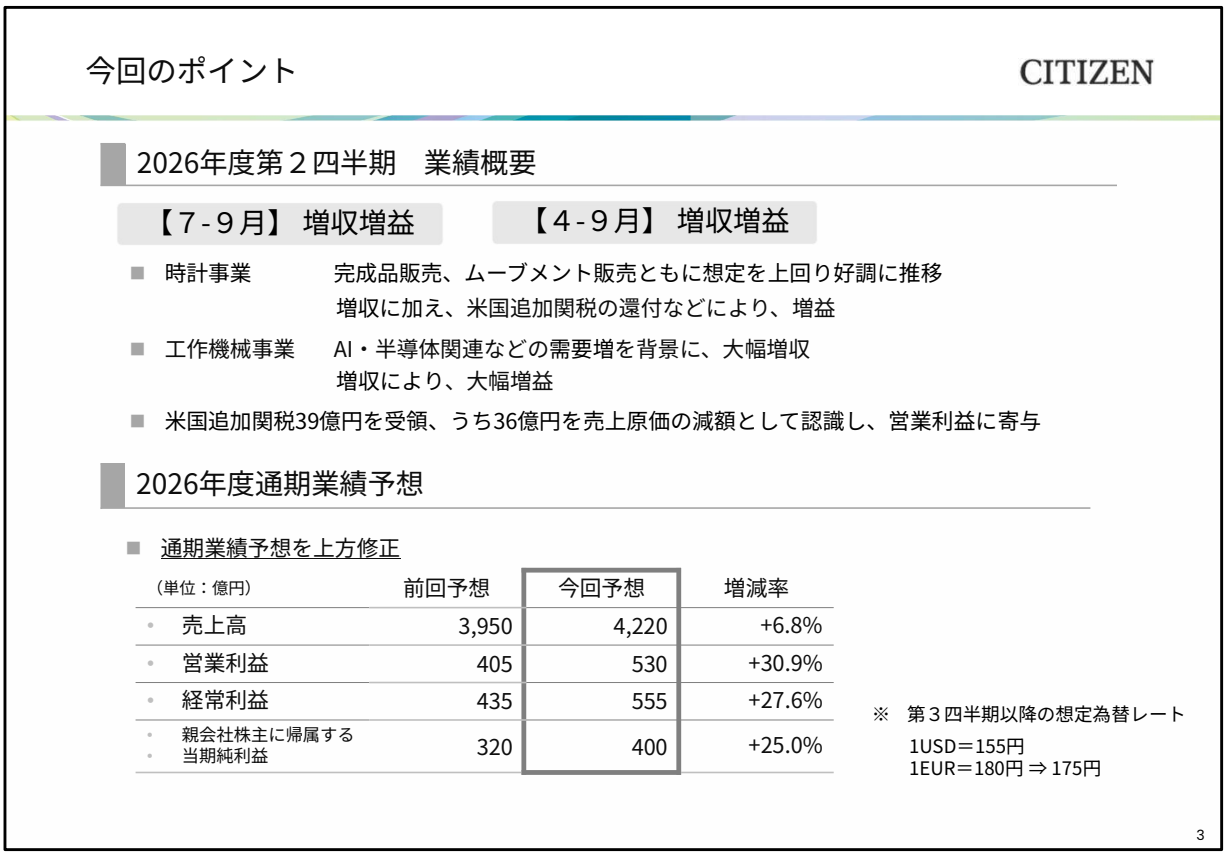
CITIZEN


| | |
|---|---|
| 第２四半期累計（４-９月）業績概要 | 連結業績概要　・・・・・・・・・・5 |
| | セグメント別業績概要　・・・・・6 |
| 第２四半期（７-９月）業績概要 | 連結業績概要　・・・・・・・・・・8 |
| | セグメント別業績概要　・・・・・9 |
| | 時計事業　・・・・・・・・・・・・10 |
| | 工作機械事業　・・・・・・・・・・15 |
| | デバイス事業　・・・・・・・・・・17 |
| 下期及び通期業績予想 | 連結業績予想　・・・・・・・・・・19 |
| | セグメント別業績予想　・・・・・20 |


2

広報IR担当の小林です。

2026年度第２四半期の業績の概要をご説明いたします。

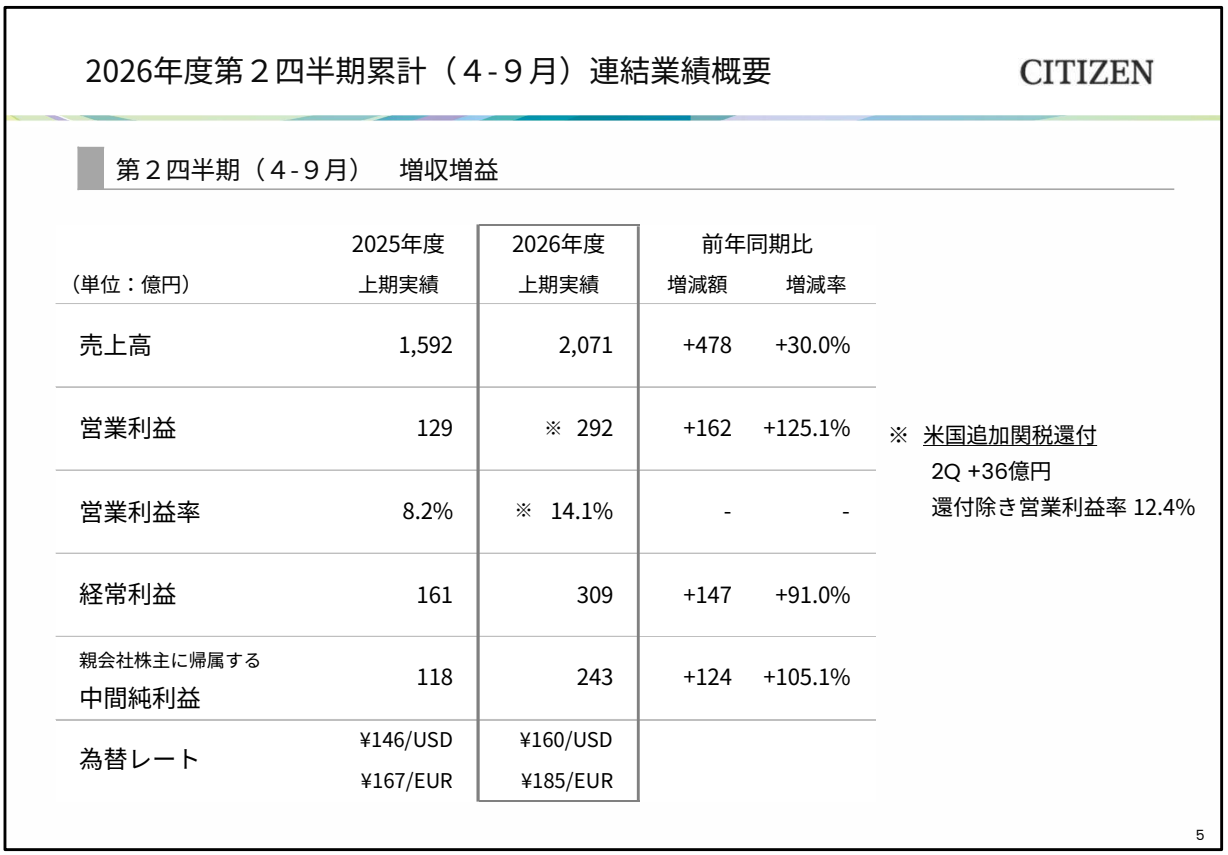



こちらが今回の決算発表のポイントとなります。

第２四半期の連結業績は増収増益となりました。
また、通期業績予想につきましては、第２四半期累計の業績の上振れや米国追加関税の還付などを反映し、上方修正いたしました。




それでは、まず、第２四半期累計期間の連結業績についてご説明いたします。



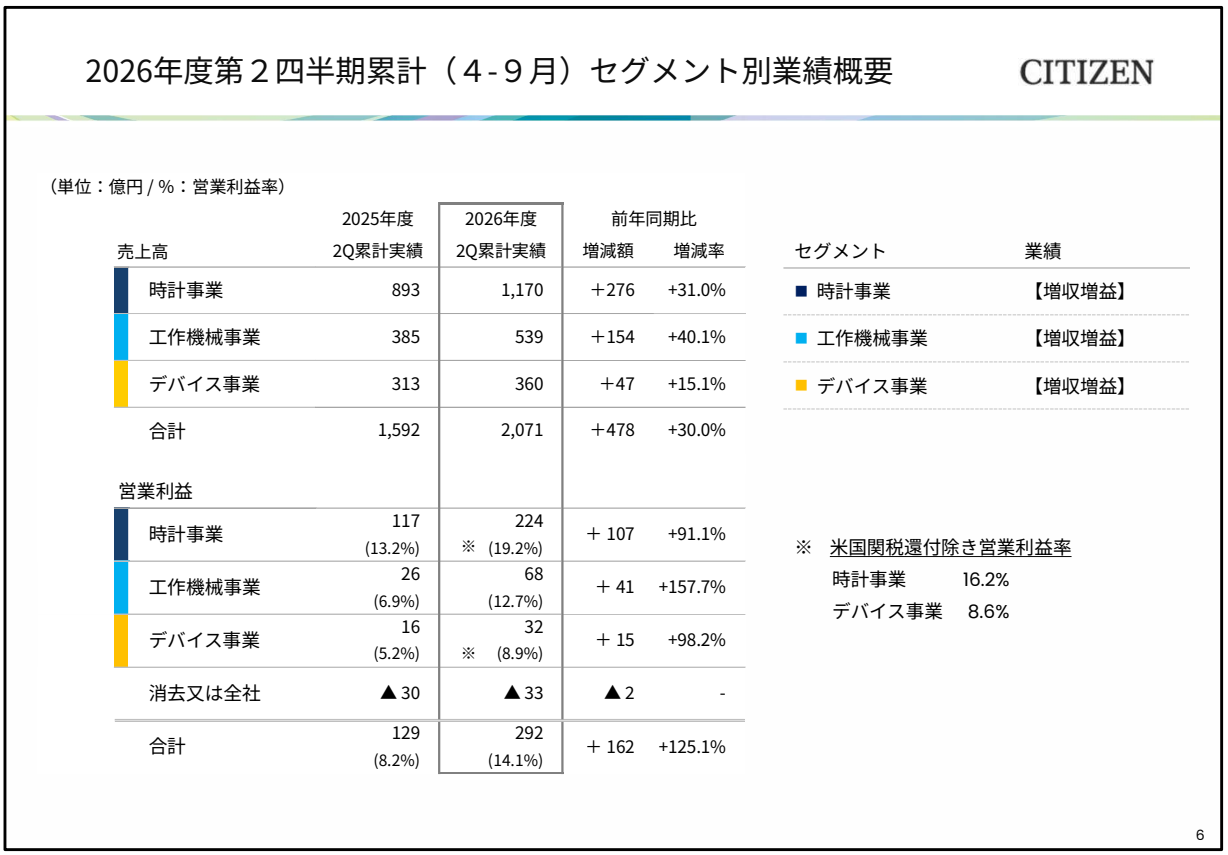

第２四半期累計期間の連結業績の概要です。

売上高は、時計事業、工作機械事業、デバイス事業がそれぞれ好調に推移し、2,071億円、前年比30.0%の増収となりました。

営業利益は、各事業の増収に加え、米国追加関税の還付受取額39億円のうち、36億円を当中間連結会計期間の売上原価の減額として認識したことから、前年比125.1%の大幅な増益となりました。営業利益率は14.1%、還付を除くと12.4%となりました。

経常利益は、営業利益の増加などにより、309億円と前年比91.0%増となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、243億円と前年比105.1%増となりました。

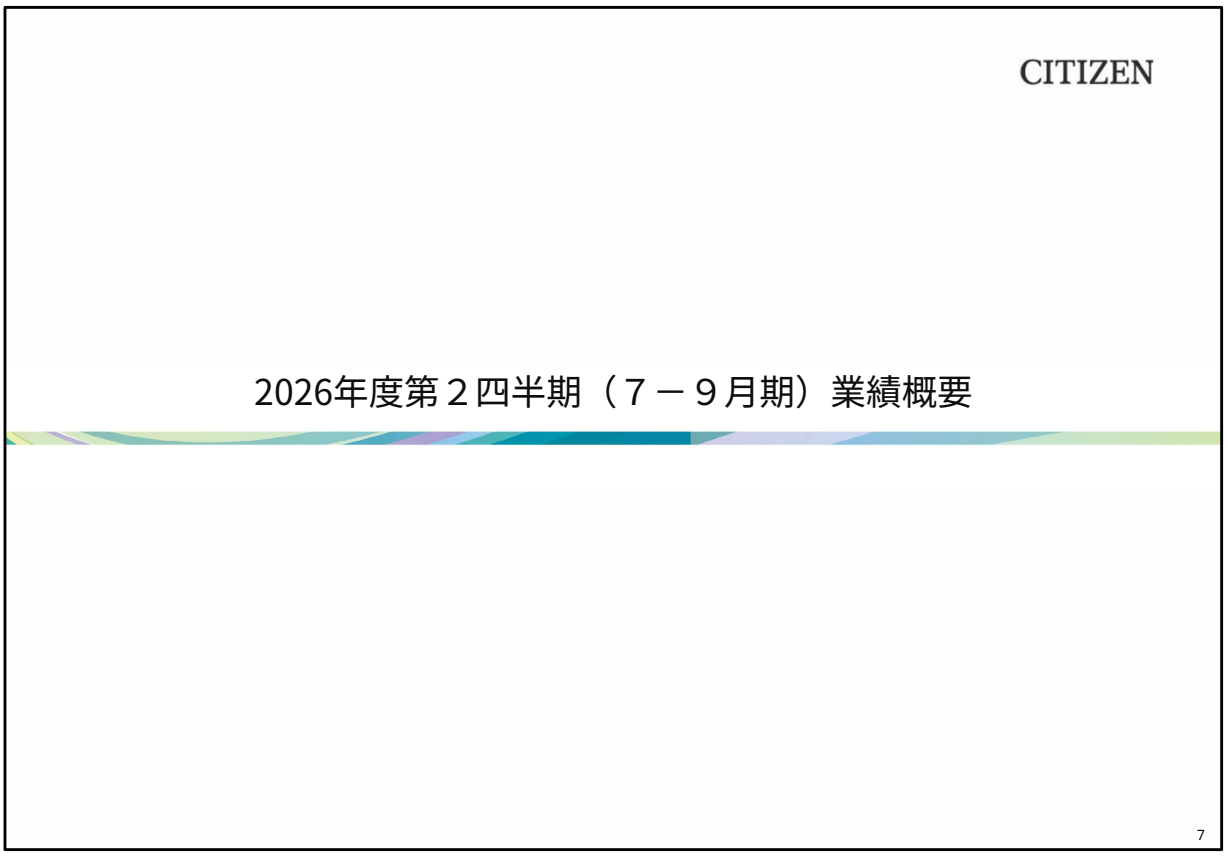



事業セグメント別の業績です。

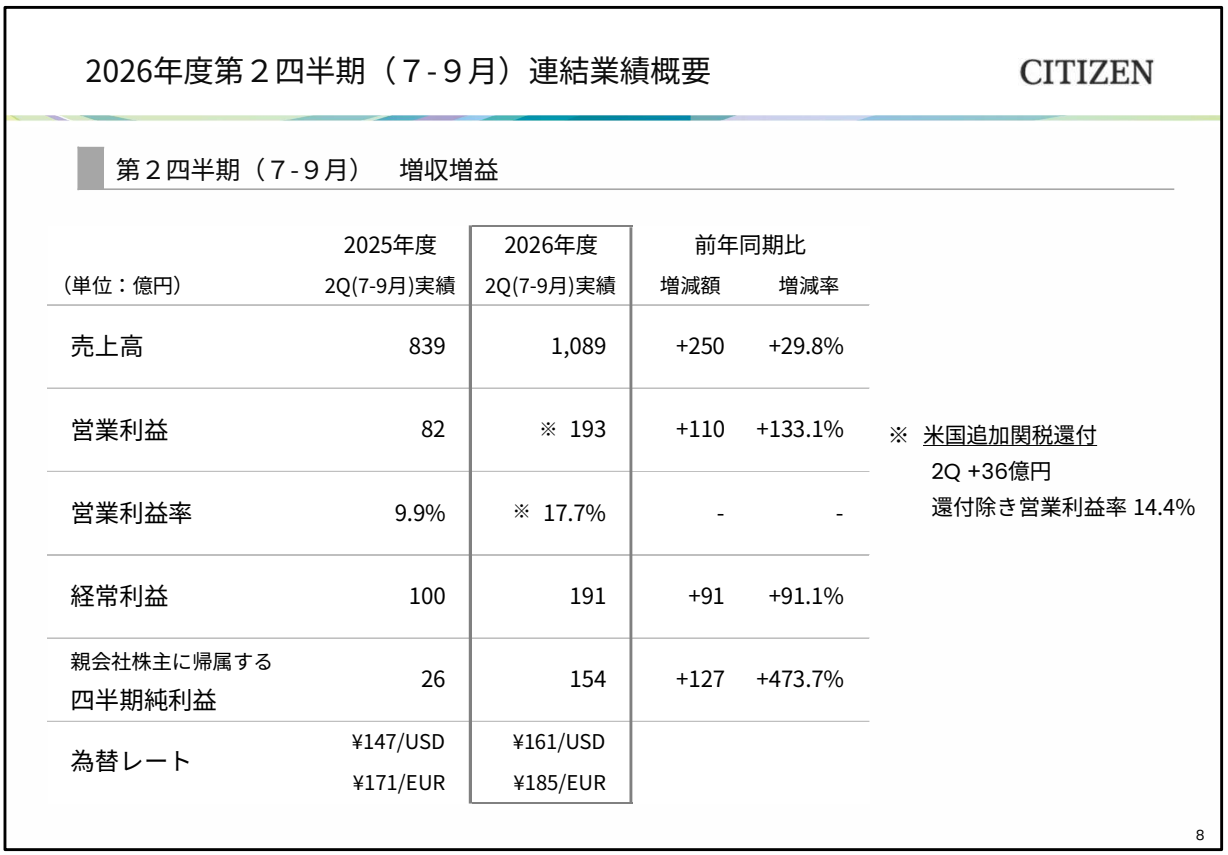
時計事業は、完成品販売、ムーブメント販売ともに好調に推移し、売上高は1,170億円、前年比31.0%の増収となりました。営業利益は、完成品とムーブメント販売の増収に加え、米国追加関税の還付により、224億円、前年比91.1%の大幅な増益となりました。営業利益率は19.2%、還付を除くと16.2%となりました。

工作機械事業は、国内市場と海外市場がともに増収となり、売上高は539億円、前年比40.1%の増収、営業利益は68億円、前年比157.7%の大幅な増益となりました。

デバイス事業は、フォトプリンターなどが好調に推移し、増収増益となりました。




続いて、第２四半期、３カ月の連結業績についてご説明いたします。




売上高は1,089億円、前年比29.8%の増収となりました。

営業利益は193億円、前年比133.1%の増益となりました。営業利益率は17.7%、還付を除くと14.4%となりました。

経常利益は、為替差損益の影響があったものの、営業利益の増加などにより、191億円と前年比91.1%増となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、過年度関税等及び過年度関税等引当金繰入額の減少などにより、154億円と前年比473.7%増となりました。

## 2026年度第２四半期（７-９月）セグメント別業績概要

CITIZEN

（単位：億円 / %：営業利益率）

| 売上高 | 2025年度 2Q(7-9月)実績 | 2026年度 2Q(7-9月)実績 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 |
|---|---|---|---|---|
| 時計事業 | 478 | 622 | ＋143 | +30.0% |
| 工作機械事業 | 195 | 283 | ＋87 | +45.0% |
| デバイス事業 | 165 | 184 | ＋18 | +11.2% |
| 合計 | 839 | 1,089 | ＋250 | +29.8% |
| **営業利益** | | | | |
| 時計事業 | 73 (15.4%) | 153 ※ (24.7%) | ＋ 79 | +108.5% |
| 工作機械事業 | 11 (5.9%) | 36 (12.8%) | ＋ 24 | +217.5% |
| デバイス事業 | 12 (7.3%) | 18 ※ (10.0%) | ＋ 6 | +52.7% |
| 消去又は全社 | ▲14 | ▲15 | ＋ 0 | - |
| 合計 | 82 (9.9%) | 193 (17.7%) | ＋ 110 | +133.1% |

| セグメント | 業績 |
|---|---|
| ■ 時計事業 | 【増収増益】 |
| ■ 工作機械事業 | 【増収増益】 |
| ■ デバイス事業 | 【増収増益】 |

※ 米国関税還付除き営業利益率
時計事業 19.0%
デバイス事業 9.5%

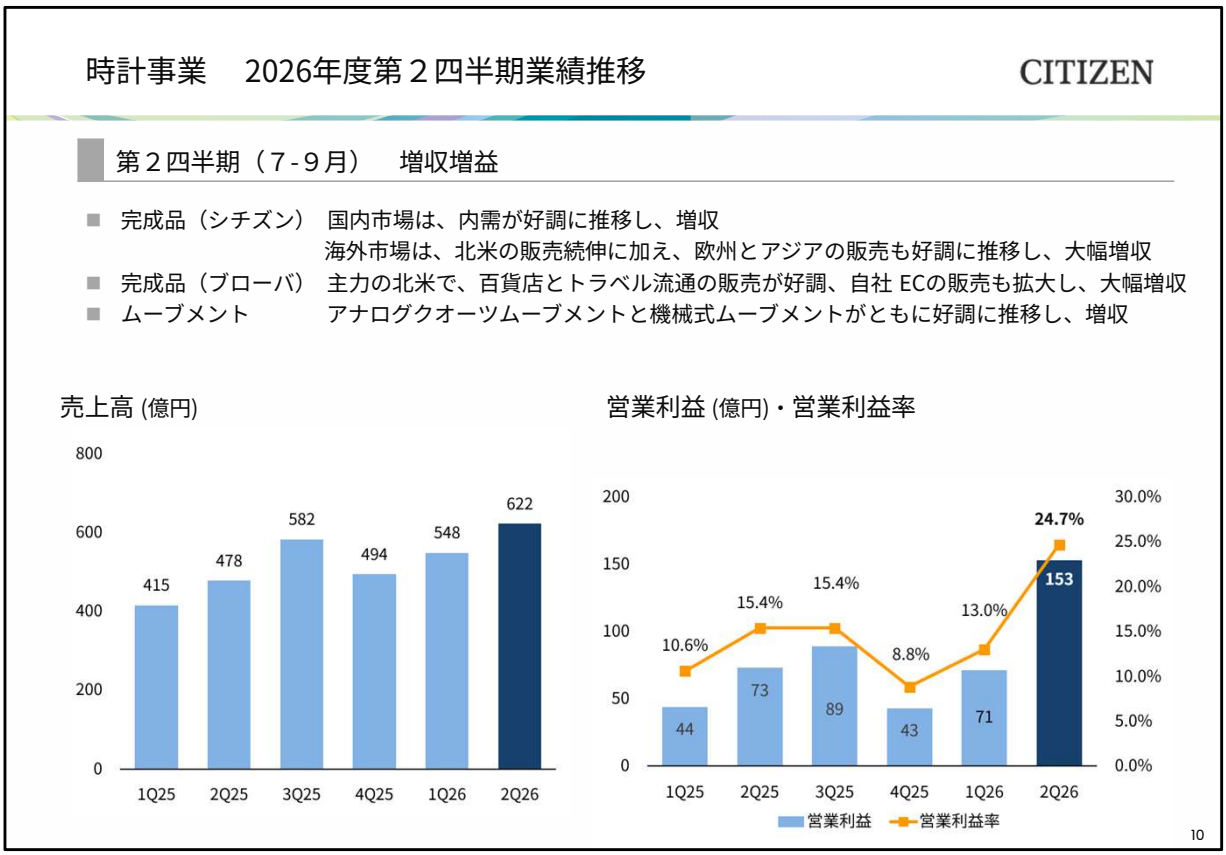
9

次に、事業セグメント別の業績です。

時計事業は、売上高622億円、前年比30.0%の増収となりました。営業利益は153億円、前年比108.5%の増益となりました。営業利益率は24.7%、還付を除くと19.0%となりました。

工作機械事業は、売上高283億円、前年比45.0%の増収、営業利益は36億円、前年比217.5%の増益となりました。

デバイス事業は、増収増益となりました。




それでは、時計事業の概況をご説明いたします。

完成品販売のうち、「シチズン」ブランドにつきまして、国内市場は、内需が好調に推移し、増収となりました。

海外市場は、北米の力強い販売が継続したほか、欧州とアジアの販売も好調に推移し、大幅な増収となりました。

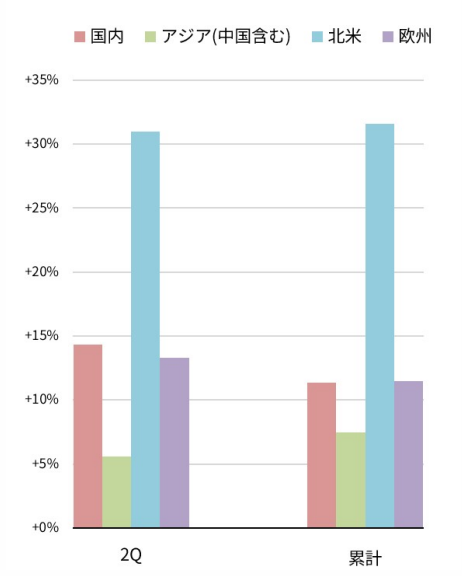
「ブローバ」ブランドは、主力の北米において、百貨店とトラベル流通の販売が好調に推移したことに加え、自社ECの販売も拡大し、大幅な増収となりました。

ムーブメントは、アナログクオーツムーブメントと機械式ムーブメントがともに好調に推移し、増収となりました。

## 時計事業　地域別売上高伸び率

CITIZEN

### 前年同期比増減率　(現地通貨ベース)




※ 北米のみシチズンブランドとブローバブランドを合算した増減率
その他の地域はシチズンブランドのみの増減率

### 地域別販売状況（7-9月）

| 地域 | 前年同期比 | 詳細 |
|---|---|---|
| 国内 | 【増収】 | 内需が伸長し、主力の『アテッサ』の販売が好調。グローバルサブブランドの『プロマスター』などの販売も堅調に推移。 |
| アジア(中国含む) | 【増収】 | タイやインドにおいて、機械式時計を中心に販売好調が継続。台湾や香港の販売も堅調を維持。 |
| 北米 | 【増収】 | 「シチズン」「ブローバ」ブランドともに百貨店流通やトラベル流通、自社ECの販売が引き続き好調。『アテッサ』や『シチズン エル』などが好調。 |
| 欧州 | 【増収】 | 『プロマスター』の販売好調に加え、製品ラインナップを拡充した機械式時計が販売を牽引。 |

11

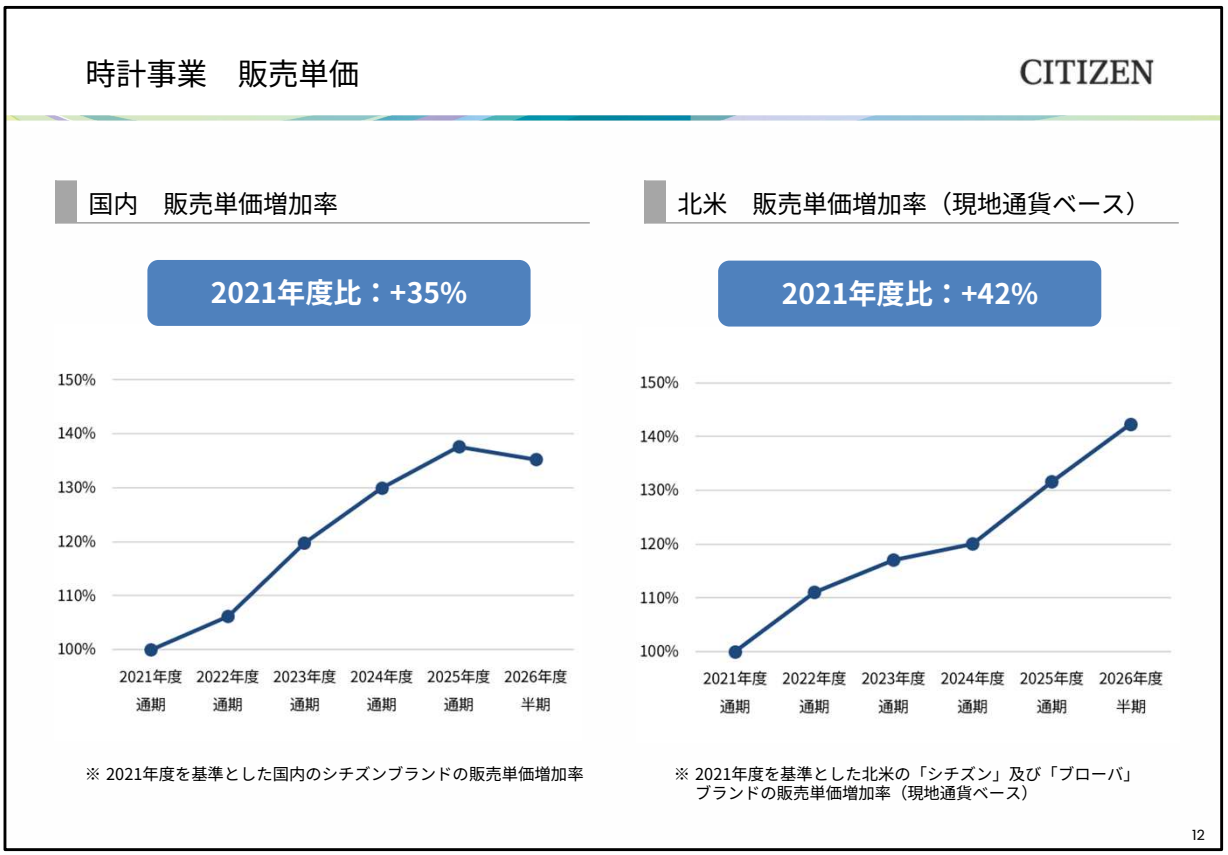
こちらは、現地通貨ベースの地域別売上高の伸び率です。

赤色の国内は、内需が伸長し、主力の『アテッサ』の販売が好調に推移したほか、グローバルサブブランドの『プロマスター』などの販売も堅調となり、増収となりました。

緑色のアジアは、タイやインドにおいて、機械式時計を中心に好調な販売が続いたほか、台湾や香港の販売も堅調を維持し、増収となりました。

青色の北米は、「シチズン」ブランド、「ブローバ」ブランドともに、百貨店流通やトラベル流通、自社ECの販売が引き続き伸長し、大幅な増収となりました。

紫色の欧州は、『プロマスター』の販売好調に加え、製品ラインナップを拡充した機械式時計が販売を牽引し、増収となりました。




次に、主要２地域の販売単価の推移をご説明いたします。

国内の販売単価の増加率は、2021年度比で+35%となりました。戦略的に普及価格帯の製品ラインナップを増やし、販売構成比が高まったため、2025年度比では増加率が減少する結果となりました。引き続き、中価格帯の製品ミックス改善とプレミアムブランドの販売強化を進め、販売単価の上昇を図ります。

北米では、販売単価の上昇が継続しており、2021年度比で、現地通貨ベースで+42%となりました。「シチズン」ブランドは、『アテッサ』などの高価格製品が好調に推移しているほか、「ブローバ」ブランドも高付加価値製品の導入が着実に進んでおります。

## 時計事業　トピックス

CITIZEN

### エコ・ドライブ50周年　記念限定モデル発売・プロモーションイベント開催

- 1976年にシチズンが世界で初めてアナログ式光発電時計（現：エコ・ドライブ）を発売してから50周年
- 当社のコア技術、エコ・ドライブ50周年を記念し、限定モデルを発売
- 世界各地でブランド広告の展開やイベントを開催

Eco-Drive 50









発売日　：2026年10月１日
価　格　：希望小売価格 148,500円～178,200円（税込）
モデル　：２モデル
限定数量：世界限定各 5,000本

グローバルでイベントや屋外広告などのプロモーションを実施

13

続きまして、時計事業のトピックスです。

シチズンのコア・テクノロジーであるアナログ式光発電時計、エコ・ドライブの誕生50周年を記念し、10月1日に限定モデル「Eco-Drive PHOTON（エコ・ドライブ フォトン）」を発売いたしました。

光にまつわる科学の歴史にインスパイアされた斬新なデザインが好評を得ており、グローバルで好調な販売が続いております。

また、アメリカと日本に引き続き、世界各地で50周年記念イベントや屋外広告を展開し、ブランドの認知拡大を図っております。

引き続き、光発電時計のパイオニアとして、エコ・ドライブの機能性やデザイン性の深化に取り組み、「シチズン」ブランドの提供価値向上に努めてまいります。

時計事業　トピックス

CITIZEN

## 「フレデリック・コンスタント」より初のソーラー駆動式キャリバー搭載モデルが発売

- シチズングループ傘下のラ・ジュー・ペレ社が開発したソーラー駆動式キャリバー搭載モデル
- 光がある限り時計が動き続け、一度フル充電すれば暗闇でも10カ月間駆動が可能
- ブランドのデザインDNA、クラシカルエレガントを受け継ぎ、ソーラーセルを感じさせない洗練された印象

FREDERIQUE CONSTANT
GENEVE



発売日　：2026年７月発売
価　格　：希望小売価格 220,000円（税込）
モデル　：３モデル

14

次に、「フレデリック・コンスタント」です。

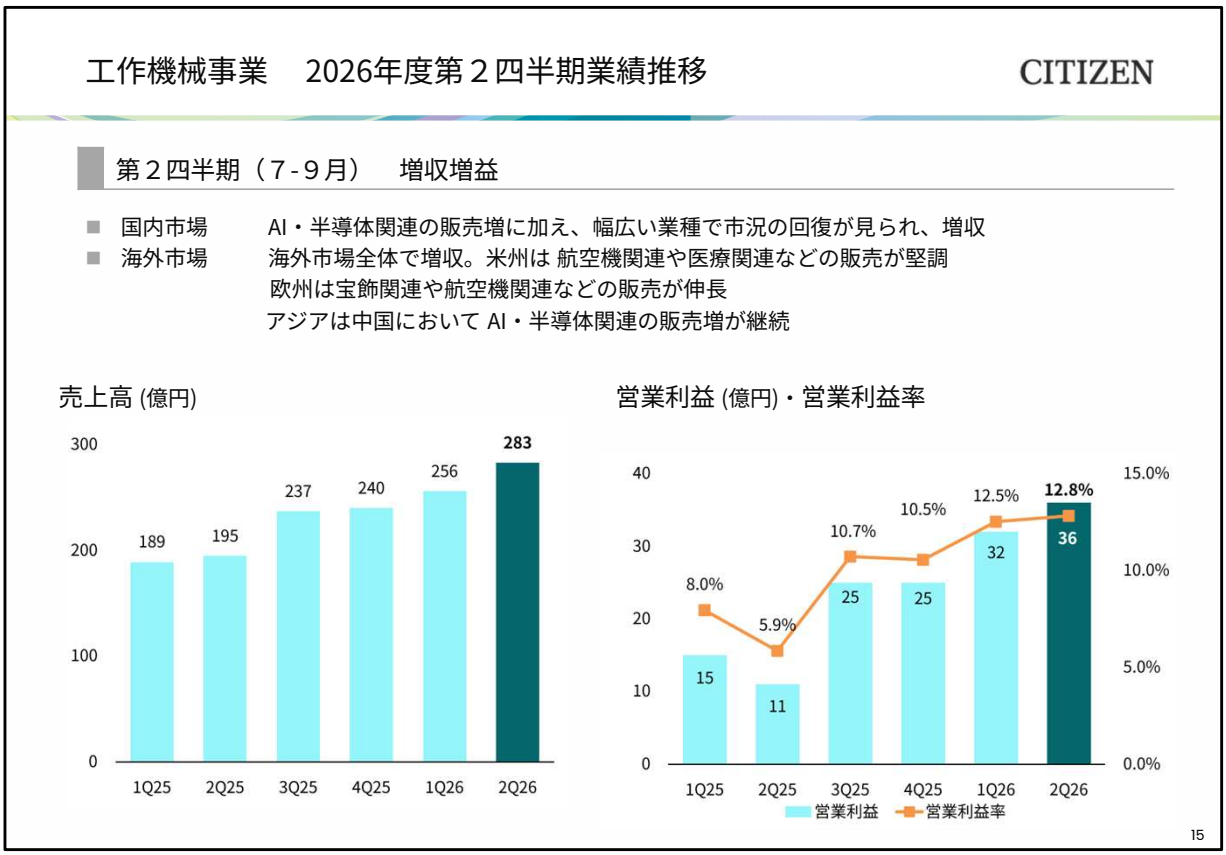
「フレデリック・コンスタント」より、ブランド初となるソーラー駆動式モデルを発売いたしました。

シチズングループ傘下のラ・ジュー・ペレ社が開発したソーラームーブメントを搭載しており、「シチズン」、「ラ・ジュー・ペレ」、「フレデリック・コンスタント」の連携によって生まれたモデルの一つです。

ブランドのデザインDNAであるクラシカルエレガントを受け継ぎながら、ソーラーセルを感じさせない洗練されたデザインに仕上げております。

当社の最大市場である北米では、「シチズン」と「ブローバ」の流通網などを活用し、宝飾チェーンや百貨店の上位店などを中心に、「フレデリック・コンスタント」の販売を伸ばしております。

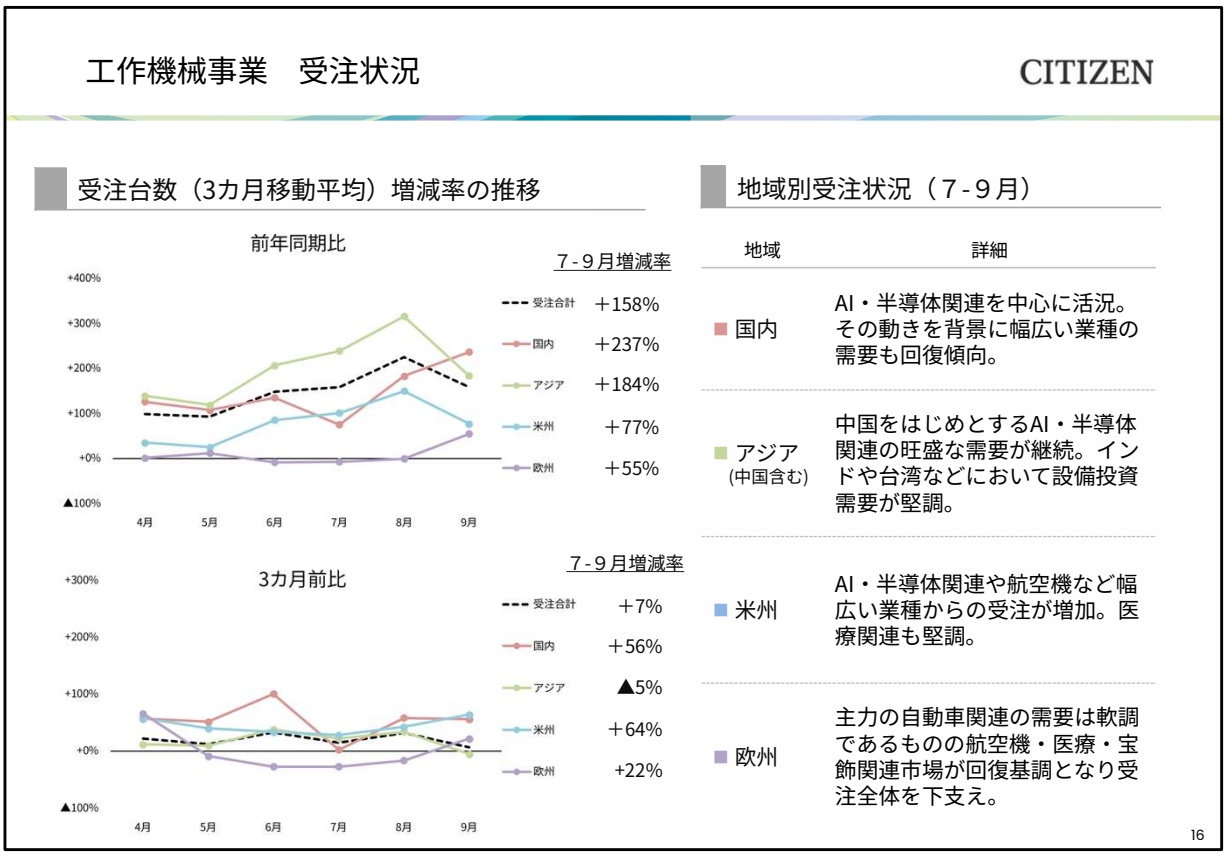
今後もマルチブランド戦略の強みを活かし、さらなる付加価値の向上と販売拡大を目指します。




続いて、工作機械事業です。

国内は、AI・半導体関連の販売増に加え、幅広い業種で市況の回復傾向が見られ、増収となりました。

海外は、海外市場全体で、増収となりました。米州は、航空機関連や医療関連などの販売が堅調に推移しました。欧州は宝飾関連や航空機関連などの販売が伸長し、アジアは中国を中心にAI・半導体関連の販売増が継続しました。




こちらは、地域別の受注状況です。折れ線グラフは、受注台数の３カ月移動平均の前年同期比と３カ月前比の増減率の推移です。

地域別に見ますと、

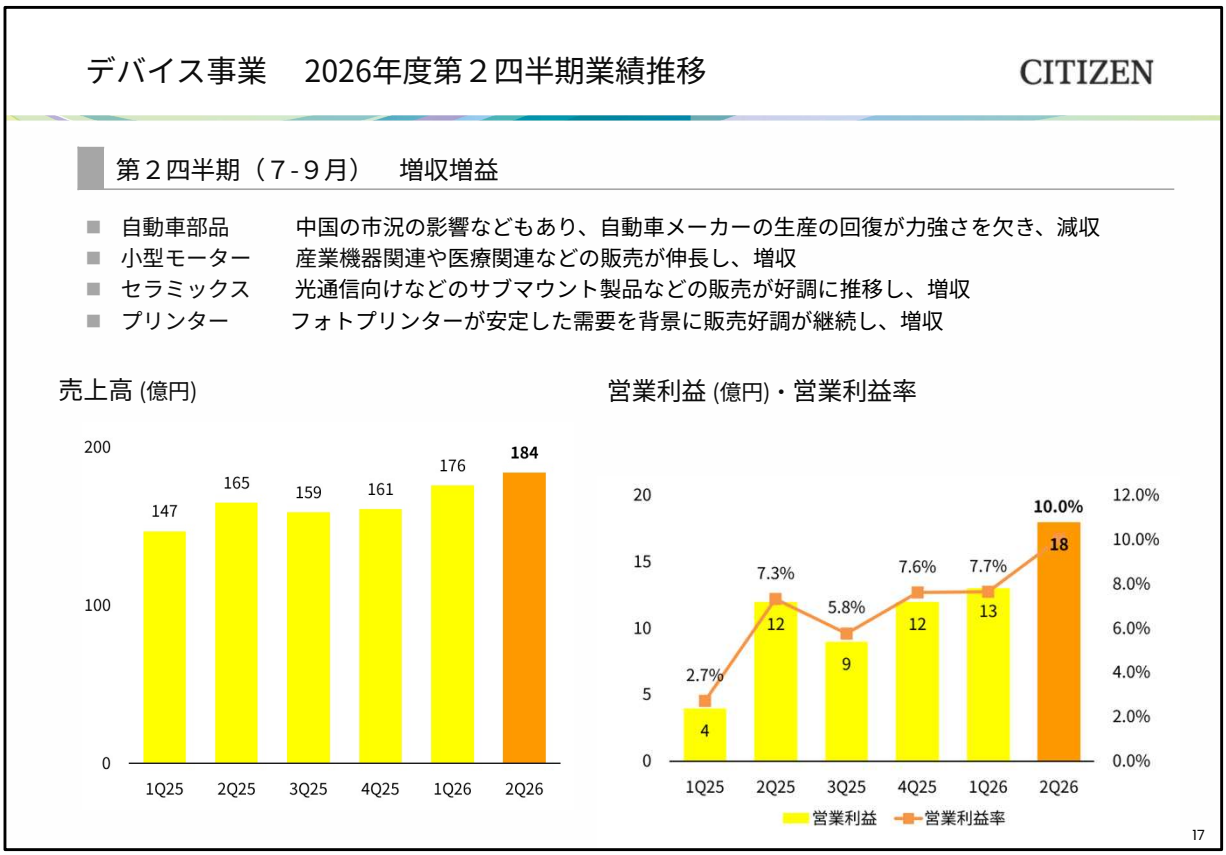
国内は、AI・半導体関連を中心とした活況を背景に、幅広い業種の需要も回復傾向となり、受注が増加しました。

アジアは、中国をはじめとするAI・半導体関連の旺盛な需要が継続しているほか、インドや台湾などにおいて設備投資需要が堅調に推移しました。

米州は、AI・半導体関連や航空機関連など、幅広い業種からの受注が増加しました。

欧州は、主力の自動車関連の需要は軟調であるものの、航空機、医療、宝飾関連市場が回復基調となり、受注全体を下支えしました。

なお、９月受注分より戦略的に値上げを実施したため、国内と欧米では、値上げ前の駆け込み需要も受注台数を押し上げました。



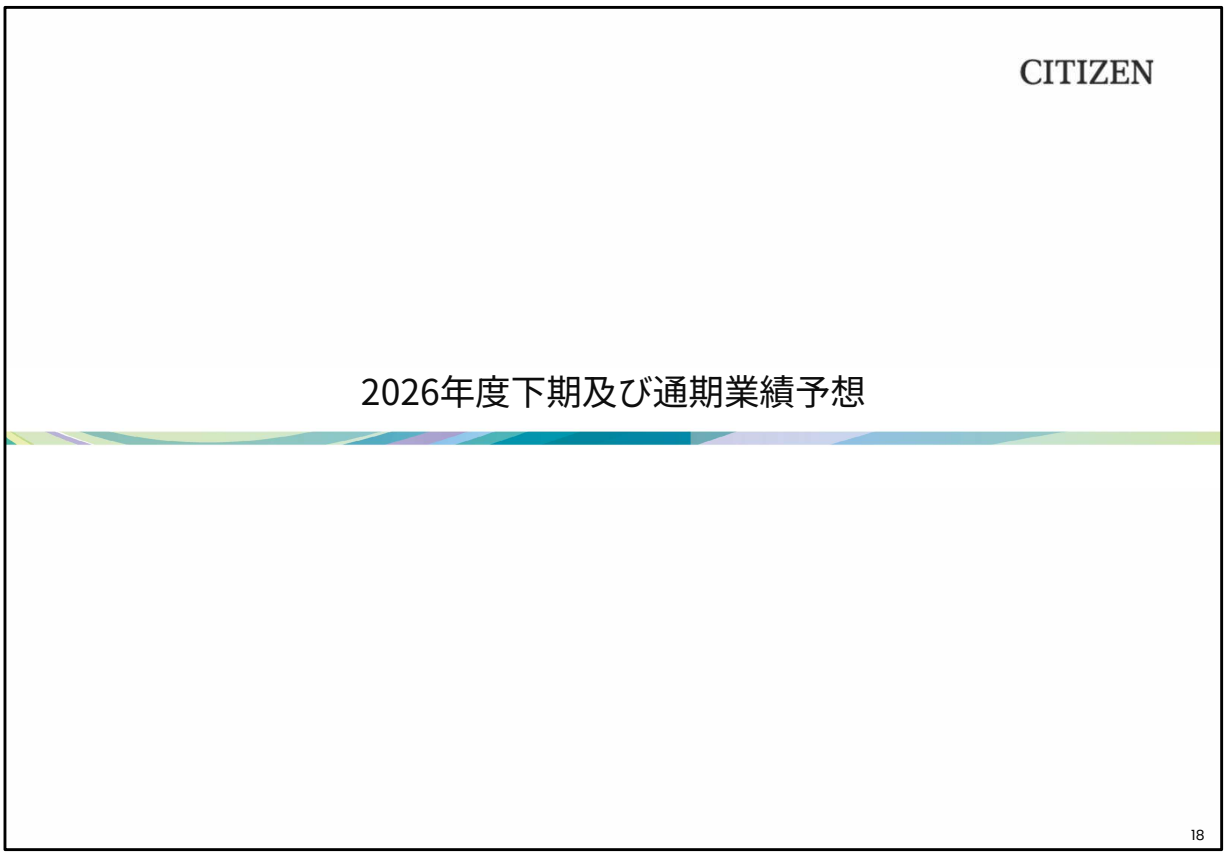

デバイス事業です。

自動車部品は、中国の市況の影響などもあり、自動車メーカーの生産回復が力強さを欠き、減収となりました。

小型モーターは、産業機器関連や医療関連などの販売が伸長し、増収となりました。

セラミックスは、光通信向けなどのサブマウント製品などの販売が好調に推移し、増収となりました。

プリンターは、フォトプリンターが安定した需要を背景に好調な販売が継続し、増収となりました。




最後に、2026年度下期及び通期業績予想についてご説明いたします。

## 2026年度　下期及び通期連結業績予想

CITIZEN

| (単位：億円) | 2026年度 8/14予想 下期 | 2026年度 8/14予想 通期 | 2026年度 11/12予想 下期 | 2026年度 11/12予想 通期 | 増減額 下期 | 増減額 通期 | 増減率 下期 | 増減率 通期 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 1,990 | 3,950 | 2,148 | 4,220 | +158 | +270 | +8.0% | +6.8% |
| 営業利益 | 200 | 405 | 237 | 530 | +37 | +125 | +18.9% | +30.9% |
| 営業利益率 | 10.1% | 10.3% | 11.1% | 12.6% | - | - | - | - |
| 経常利益 | 210 | 435 | 245 | 555 | +35 | +120 | +17.0% | +27.6% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 150 | 320 | 156 | 400 | +6 | +80 | +4.2% | +25.0% |
| 為替レート | ¥155/USD<br>¥180/EUR | ¥156/USD<br>¥181/EUR | ¥155/USD<br>¥175/EUR | ¥158/USD<br>¥180/EUR | | | | |

※為替影響額 (1円円安時の年間影響額)

| | USD | EUR |
|---|---|---|
| 売上高 | +8.0億円 | +2.7億円 |
| 営業利益 | +2.3億円 | +1.5億円 |

19

通期の連結業績予想ですが、第２四半期累計の業績の上振れや米国追加関税の還付などを反映し、上方修正いたしました。

売上高は270億円増の4,220億円、営業利益は125億円増の530億円、経常利益は120億円増の555億円、親会社株主に帰属する当期純利益は80億円増の400億円を見込んでおり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも過去最高を更新する見通しです。

なお、第３四半期以降の予想為替レートは、１USドル155円、１ユーロ175円としています。

## 2026年度　下期及び通期連結業績予想　セグメント別業績推移

CITIZEN

（単位：億円 / %：営業利益率）

| | 2026年度 8/14予想 | | 2026年度 11/12予想 | | 増減額 | | 増減率 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 下期 | 通期 | 下期 | 通期 | 下期 | 通期 | 下期 | 通期 |
| 時計事業 | 1,140 | 2,230 | 1,249 | 2,420 | ＋109 | ＋190 | +9.6% | +8.5% |
| 工作機械事業 | 525 | 1,040 | 560 | 1,100 | ＋35 | ＋60 | +6.7% | +5.8% |
| デバイス事業 | 325 | 680 | 339 | 700 | ＋14 | ＋20 | +4.4% | +2.9% |
| 合計 | 1,990 | 3,950 | 2,148 | 4,220 | ＋158 | ＋270 | +8.0% | +6.8% |
| 営業利益 | | | | | | | | |
| 時計事業 | 145 (12.7%) | 290 (13.0%) | 175 (14.0%) | 400 (16.5%) | ＋ 30 | ＋ 110 | +20.8% | +37.9% |
| 工作機械事業 | 70 (13.3%) | 135 (13.0%) | 76 (13.7%) | 145 (13.2%) | ＋ 6 | ＋ 10 | +9.3% | +7.4% |
| デバイス事業 | 18 (5.5%) | 45 (6.6%) | 22 (6.8%) | 55 (7.9%) | ＋ 4 | ＋ 10 | +27.6% | +22.2% |
| 消去又は全社 | ▲ 33 | ▲ 65 | ▲ 36 | ▲ 70 | ▲ 3 | ▲ 5 | - | - |
| 合計 | 200 (10.1%) | 405 (10.3%) | 237 (11.1%) | 530 (12.6%) | ＋ 37 | ＋ 125 | +18.9% | +30.9% |

20

事業セグメント別では、全セグメントにおいて、売上高と営業利益を上方修正いたしました。

時計事業では、北米市場を中心に好調な販売が継続する見込みであるほか、ムーブメント販売も好調に推移すると見込んでおります。

工作機械事業では、半導体関連などを中心に設備投資需要が回復傾向にあり、良好な受注環境が続く見通しです。

デバイス事業におきましても、フォトプリンターをはじめとする主力製品の販売が堅調に推移すると見ております。

CITIZEN

# Appendix

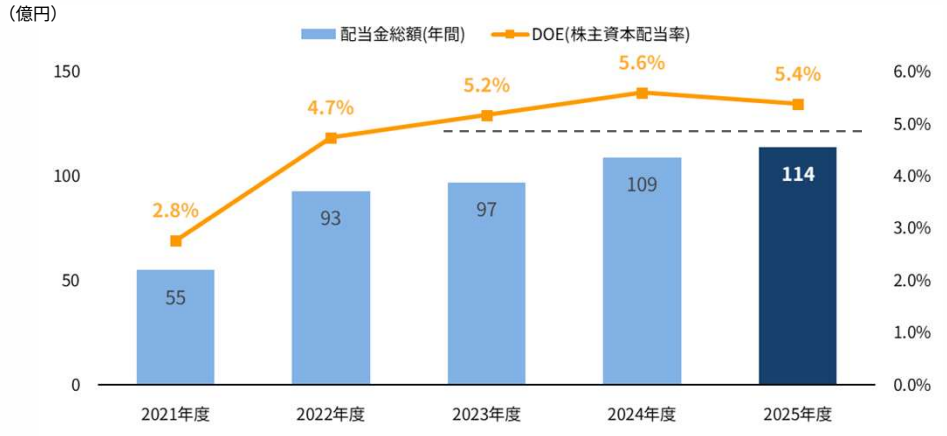
# 株主還元

CITIZEN

## 株主還元方針（2025-2027年度）

- DOE（株主資本配当率） ※5.0%以上を目安
- これまでの配当実績を考慮し、より安定的かつ継続的な配当を重視
- 自己株式の取得は、業績、資本構成、投資計画、株価を含む市場環境等を考慮し、状況に応じて機動的に判断

※DOE =“配当金総額” / “株主資本(期首残高と期末残高の平均値)"

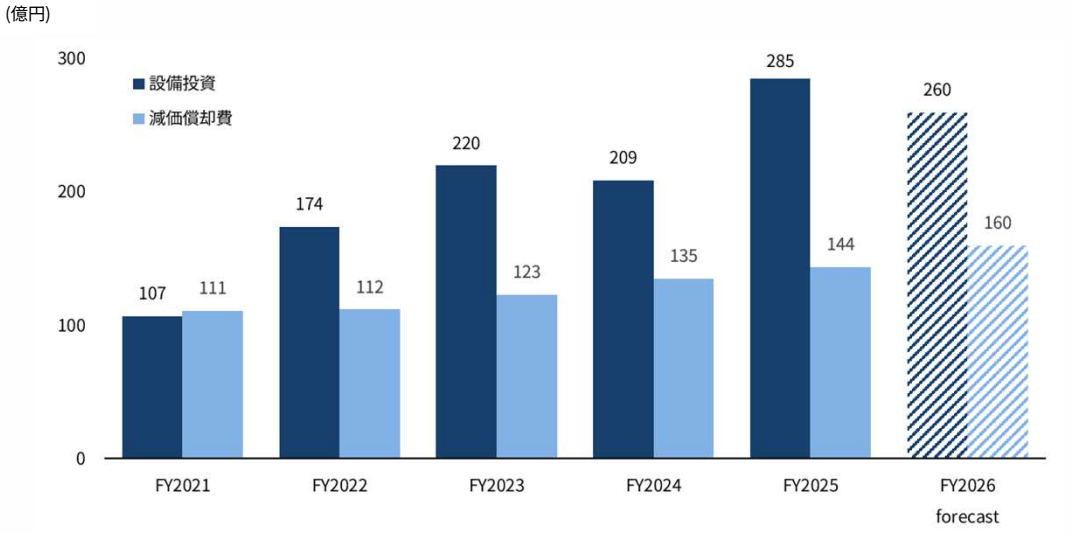



「中期経営計画 2027」
DOE方針　5.0%以上

# 設備投資・減価償却費

CITIZEN

- 「中期経営計画 2027」に基づき時計事業の成長合理化投資に注力する方針
- 投資配分イメージ　コア事業である時計事業と工作機械事業が7割以上となる予定



## 時計事業　ブランドポートフォリオ

CITIZEN

完成品

CITIZEN



BULOVA



FREDERIQUE CONSTANT
GENEVE



ブランド価値向上による
事業成長と収益力強化

ムーブメント

MIYOTA



MLJP Manufacture LA JOUX-PERRET



24

# 工作機械事業　主な加工事例

CITIZEN

Cincom

主軸台移動形CNC自動旋盤



Miyano

主軸台固定形CNC自動旋盤



小径長尺精密部品

中径長尺精密部品

電子・精密



医療



自動車



25


CITIZEN
本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
なお、億円未満は切り捨てになっています。

以上となります。